

水俣・芦北地域戦略プラットフォーム 第18回課題検討会のお知らせ (第3回地域戦略検討会)

水俣地域での水銀暴露 の分布の変動と水俣湾 水銀汚染の現状 についてまなぶ

富安卓滋研究室より



今回の水俣・芦北地域戦略プラットフォーム課題検討会は、前回に引き続き、水銀に関する話題です。報告者には、水銀分析のエキスパートとして活躍を続けておられる国際水銀ラボ所長の赤木洋勝氏と、鹿児島大学理学部教授の富安卓滋氏をお迎えし、水俣地域における胎児のメチル水銀暴露の時間的・地理的な分布の変化や、水俣湾における水銀汚染の現状、水俣湾埋め立て地や八幡残渣プールの問題点などを中心に、水俣にかかわる水銀のお話をうかがいます。

報告 赤木洋勝氏 (国際水銀ラボ 所長)

富安卓滋氏 (鹿児島大学理学部 教授)

日時 2010年6月28日(月) 19:00~21:00

場所 熊本学園大学 水俣学現地研究センター

水俣市浜町2-7-13(水俣市公民館裏、婦人会館向かい)
TEL・FAX 0966-63-5030

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」世話人会・事務局
熊本学園大学水俣学研究センター 藤本延啓

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」とは

「負の遺産」としての水俣病事件をベースに、人間としての生き方、日々の暮らし、地域社会(教育、環境、福祉、経済、政治など)のあり様を問い直そうとする市民、NPO、研究者、民間事業者、行政職員など多様な関係者の“出会いの場、学習の場、討議の場”であり、また、“新たな価値(生活文化)を創造する「場」として位置づけられた舞台(プラットフォーム)です。